

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

50号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN RX 工法



こんなところで活躍しています

教育施設屋上 (VUS500)



第10回 屋上緑化講演会 「これからの都市緑化におけるグリーンインフラ」

薄層屋上緑化技術協会主催の「屋上緑化講演会」も第10回目を迎え、今回は、屋上開発研究会との共催で昨年11月26日大阪にて開催されました。

今回のテーマは「これからの都市緑化におけるグリーンインフラ」。

講演1
「2025年の大阪万博の開催に向けての取り組み」
大阪府政策企画部万博協力室 総務担当課長 東口勝宏氏

大阪・関西万博の概要と万博開催の意義、開催に向けた現在の取り組み等について講演頂きました。

テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、開催場所の夢洲は人工の埋立地で、入場者は、約2800万人を想定しています。キーワードに17のゴールからなる「持続可能な開発目標」を掲げ、これら課題の解決により地球上の誰もが住みやすい環境づくりを目指す。2025年時点で大阪・関西から世界に発信しよう！と結ばれました。

講演2
「シンガポールガーデンズバイザベイにおけるグリーンインフラ創生等について」
株式会社ウイン代表 稲田純一氏

シンガポールは、赤道直下に位置し、広さは淡路島と同程度で、1965年マレーシアから独立後には目まぐるしい発展を遂げ、経済大国トップクラスでありながら、動植物と共存する社会です。エドワード・ウィルソン間の「バイオフィリア人間は本能的に自然とつながりたい」を国づくりに



採用し、ガーデンズバイザベイには50mもの壁面緑化が採用されています。どのような植物を用い、どのような管理をすれば良いかが、緑化の肝であるとおっしゃられました。



代表取締役会長 小林 知義

さて、我々の土木・建築業界を取り巻く環境ですが、常に技能者・労働者不足がマンネリ化した状況になってきています。法

律はできたものの、海外からの人材も、急速に入ってくるという状況ではなく、少しずつという感じになっています。

予算を見れば、政府の目指している方向性が解るのですが、相変わらず、票になる女性向け幼児教育の無償化、票を持っている高齢者向けの予算が増えるばかりのようです。

後は、中国や北朝鮮を仮想敵国とした防衛予算。私には、これらの国が近未来、軍事的に攻めてくるとは、とても思えません。

すべて、無駄だとは申しませんが、日本としての国家予算の優先順位は国土の強化対策がまず第一だと思つていきます。

まず、前もって、どう備えるか。災害が起きたときは、どう対処するかを、しっかりとシミュレーションして対策をして欲しいと思います。昨年おきた、千葉県の風害も長野県千曲川の洪水も、残念ながら、完全に復旧したという状況にはなっていない。

災害に対処するためには、電気やガス、水道・下水道など公共インフラの強化が重要だと考えます。その為にも、過疎・山間地域・農村地域をコンパクトにした街づくりの推進、自然エネルギーを活用して、災害の分散化を図るなど、やるべき課題はいくらでもあります。

スカイコートW

＜タイル張り面の透明外壁防水材＞

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。

透明な塗膜
タイル仕上りの
意匠性は
そのまま!!



スカイレジン＜下地調整材＞

スカイレジンWE
エポフィラー
プライマー-E
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIGSUN ラピタルエース

＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル



速硬
軽量
厚塗り可能
取扱簡単!!



海外の緑化事情 地球の緑化が進んでいる？

<http://www.ryokka.org/>

少し前になりますが、NASAのWEBサイトに、二酸化炭素が増加したことにより、地球の緑化が進んでいることが判明したとの記事がありました。

これは人工衛星を利用して、地球全体の表面にある植生を調査したところ、35年前と比較して植物に被われていた面積が、アメリカ合衆国の面積に匹敵するくらい拡大しているという事です。

その要因の7割は二酸化炭素の濃度が上がる、と光合成が増加し、植物の成長が促進されることです。

二酸化炭素は植物が光合成を行うためには必要不可欠なものです。

当然ながら二酸化炭素が増えることで植物の成長を促すことになり、二酸化炭素が増えた原因は地球気候変動の影響で温暖化、海面上昇、氷河や氷の融解、さらに深刻な気象現象があります。

二酸化炭素は地上から

宇宙に放出される赤外線を増加させてしまつて、赤外線が温度を上昇させていると言われている。

緑の面積が増えているのは良いことなのだが、反面、これまでは寒冷地だった場所が植物が繁殖可能ならぬ温度が上昇しているという背景があります。

また二酸化炭素だけではなく、窒素の堆積も原因の10%程度を占めるとの事で化石燃料を燃やしてきたことが最大の原因である事は判明しています。

二酸化炭素にしろ、窒素にしろ現代社会のツケではないでしょうか。

温暖化してしまつたのを元に戻すことはとても困難です。抑止し少しでも元に戻せるよう、各国で人工的な緑化が推奨されているわけです。

その一端を担う緑化資材を大日化成ではこれからもご提供し続けて参ります。

透明外壁防水材「スカイコートW」説明会を各地で開催しております！

「スカイコートW」の販売開始より、4年目のシーズンに入ろうとしています。各地区の得意先販売店様や施工店様等、「スカイコートW」の説明会を順次開催させていただいております。

「スカイコートW」の長所を多くの人に知っていただき、施工実績も着実に増えて来ております。しかし、現状で外壁タイルからの雨漏り等が発生している場合は、わざわざ「スカイコートW」を施工しようという話にはなり難いのが現実です。

もちろん「スカイコートW」を施工することで、「今まで何をしても止まらなかった水漏れがピタリと止まった！」と喜んでいただいた現場の声も多数頂いております。

外壁タイルの目地のひび割れ等から雨水が浸入し、タイルの裏側に廻ってしまうとタイルそのものの浮きにつながり、それが進行するとタイル自体が剥落してしまう危険性も高くなるだけでなく、タイル浮き部分への注入など、予算も余分に掛かってしまうこととなることから、タイル外壁の劣化が進行してしまう前に、「スカイコートW」の施工をお勧めしたいと思っております。



「スカイコートW」はあくまで防水材であり、剥落防止の機能を謳っている訳ではありませんが、カタログ資料の塗膜物性値や、当社HP内の動画資料等をご覧いただければお分かりのとおり、温度変化による影響が少なく、優れた伸び特性と、強靱な塗膜強度を併せ持った防水材です。

「スカイコートW」を施工することによって、将来的にタイル目地にひび割れが発生しても表面の「スカイコートW」防水塗膜が雨水の浸入を防ぎ、外壁タイルの浮きや剥落を予防する効果が期待できます。

今年も引き続き各地での説明会を通して、「スカイコートW」の優れた特性を知って頂きたいと考えておりますので、説明会のご要望があれば当社営業担当者まで御連絡をよろしく申し上げます。

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL: 06-6909-6755(代) / FAX: 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL: 03-3436-3801(代) / FAX: 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



次号も
お楽しみに

URL: <http://www.dainichikasei.co.jp>

Vol.47

映画で学ぶ 環境問題



FLU 運命の36時間
原題: THE FLU

監督: キム・ソンス
脚本: イ・ヨンジョン キム・ソンス
出演者: チャン・ヒョク
スエ
パク・ミナ

上映: 121分
制作国: 韓国
配給: CJ Entertainment Japan
公開: 2013年

昨秋ロンドンで、39人もベトナム人の遺体が、一つの冷凍コンテナの中で発見されました。

全員、出稼ぎ目的の密入国者で、凍死という悲惨さ。26歳の女性は死の直前に「ママ、ごめんさい。私は死んでいく。息がでないの。」と悲痛なメッセージを送っていたことから、欧米では連日、大きく報道されました。

こういった出稼ぎ者だけでなく、後を絶たない難民問題、そして昨今の不審船舶や、急激な外国人旅行者の増加はウイルス・パンデミック

ク(感染爆発)のリスクを高めます。そういった感染の恐怖を描いたのが、韓国映画の「FLU 運命の36時間」です。

前号で紹介の「コンティジョン」同様、暗く悲惨な内容ですが、そこは韓国。娯楽要素を高め、キャラクター設定も明るくコミカルであり、アクションあり、スケール感ありとグイグイ引き込まれます！

何よりも、ソウル近郊に実在する盆唐(ブンダン)地区を舞台とし、多くの市民がエキストラで参加していることもあり、期待以上の迫力です。

ストーリーは、レスキュー隊員と女性医師、抗体を持つ彼女の娘を中心に展開するもので、香港から



運ばれる東南アジア人密航者の中に、突然変異型の鳥インフルエンザに感染した密航者がいたことから、糞尿あふれ息詰まるコンテナの中で広がり、たどり着いた郊外都市ブンダンで一気に感染を上げてしまうという内容です。このウイルスは、致死率ほぼ100%と驚異的なことが、この映画の主軸になっています。

政府は韓国全土を守るため、人口47万人のこの地区を封鎖し、隔離地区にあるスタジアムで、まだ息のある感染者ともども死者をビニール袋に詰め、まるで二ワトリの殺処分のごとく火炎放射器で焼いていきます。

一方、地球規模の拡大を恐れるアメリカ軍は、それじゃ手ぬるいと、韓国政府に許可せよとミサイルで町をまると消滅させようとしています。

「医師対政治家」「一般市民対軍人」「韓国政府対アメリカ軍」「感染者対非感染者」のように、立場の違う者同士の対立も描き、手に汗握る展開です。

幸い、正義感あふれる韓国大統領の登場やワクチンの開発でハッピーエンドです。

今年はいよいよ東京オリンピックも開催されて嬉しい反面、ウイルスリスクが高まっていることも忘れたくないですね。

なお、アジア地域のアカゲザル、カニクイサル、日本サル、台湾サルなどマカク属のサルは半数以上が、このBウイルスに潜伏感染しているようですから、サルと近づく際は、くれぐれもご注意ください。

さて本作品ですが、鳥が羽ばたいている一瞬もムダにしない演出は、王道作品ならではの！ほんの少し難もあり、ショッキングなシーンもありますが、スピーディな展開であつという間の2時間です。

エンディングロールの後にも、おまけのシーンがありますのでぜひ最後までご覧ください。

今回の作品を取り上げたのは、日本で初めて「Bウイルス病」という致死率が高い病気の感染者が出たことも要因です。昨年11月に鹿児島市の動物実験施設で、実験サルを扱う従業員が感染したのです。現時点でパンデミックの恐れはないものの、日本で初めてのBウイルスということもあり、本作品を選びました。